

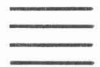
# 琉球大学学術リポジトリ

## 奨励甘蔗品種の解説

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 比嘉, 信吉 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19798">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19798</a>



# 奨励甘蔗品種の解説



## ま え が き

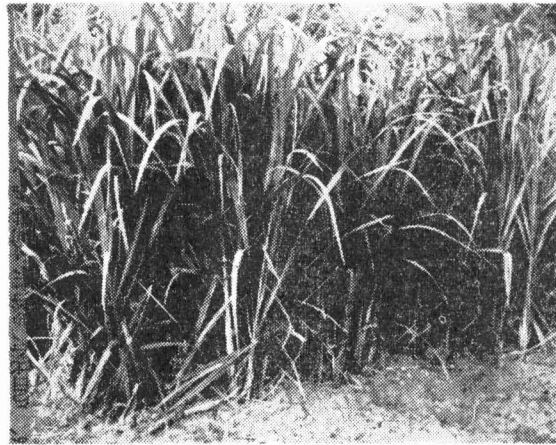
- × 十一月十二日、中央農試会議室において、戦後最初の甘蔗奨励品種査定委員
- × 会が開催され、N:Co.310とH.44-3098の二品種が奨励品種として選定された
- × のである。奨励品種として選定されたからには農家がよくその特性を知り、
- × 充分な栽培管理をすれば、在来のP.O.J.2725 よりもよく出来、又砂糖にな
- × る率も多いという訳である。
- × ところで、甘蔗増産の面からは非農家が知って頂きたい前記奨励二品種の栽
- × 培法について解説を試みたい。

(写真説明)

右はN:Co.310の採苗後の深出  
中城村津波小学校実習園にて

下はN:Co.310の春植  
中央農研所の圃場にて

1957年11月20日撮影



## 一、品種の特性 A、N:Co.310

### 1 来歴

印度のコインバート (Coimbatore) 試験場で一九四四年にCo.312を母とし、Co.421を父として交配、出来た種子を南アフリカのナタール (Natal) 試験場で育成した品種である。

沖縄には一九五一年十二月に現在の大東糖業株式会社農務課長の稲福清彦氏によつて台湾から導入されたものである。

### 2 形態

中茎種の中でも茎の細い部類に属してゐるが詭谷山種よりはるかに太く、節間は長く、灰黄色を呈し、円錐形でロウ質物が多く茎の太さは新植より株出の方が太い傾向にある。

### 3 特性

(イ) 発芽がよく揃つて。

発芽が良好であることは優良品種として必要な条件である。

現在のP.O.J.2725の発芽率は七〇—八〇%に過ぎないがN:Co.310の発芽率は八〇%以上である。従つて補植のために要する労力が少くすむ。

(ロ) 分けつ力が旺盛であること。

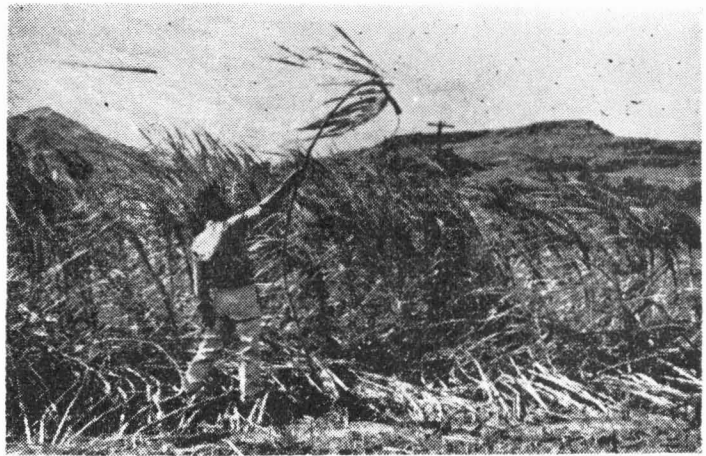




(写真説明)

上、H.44-3098の採苗後の株出  
 中城村津波小松実習園にて  
 右、H.44-3098夏植  
 西原村字桃原  
 喜屋武久正氏の農場にて

(写真は両方とも11月20日撮影)



## B' H.44-3098

### 1 来歴

ハワイ糖業試験場でH.32-8560を母とし父は不明種によつて一九四四年育成された品種でハワイ全島蔗作面積の二一、六七%を占め年々増加している傾向にある。特に非灌漑地や、やせ地では他の品種より上位の成績をあげている。

沖縄には一九五一年大東糖業株式会社社長宮坂仁四郎氏によつてハワイから導入されたものである。

### 2 形態

中茎種に属しP.O.J.2878に稍々似ており茎は赤かつ色で硬く節間は出筒形でちぎれ型をなして伸び茎丈は他の品種より長く夏植では二尺に達するものがあり、葉梢には毛茸が多い

### 3 特性

(一) 発芽がよく揃つ。

P.O.J.に比べて発芽は良し

(二) 生長が旺盛である。

生長は旺盛でP.O.J.2725 茎丈が五尺の時八尺位も伸長し年間を通しての伸長率が高く出穂し易い。

(三) 蔗茎生産量が多い。

年間を通して伸びる率が高いので原料茎が長くその上枯死茎が少いので生産量が多い(試験成績参照)

(四) 糖分の含有量が高く転化糖が少い(試験成績参照)

(五) 病害虫に対してはメンガガ虫葉焼病に対する抵抗力は弱いが鼠害や枯死茎数が少い傾向である。

(六) 暴風雨及び旱魃に対してはP.O.J.2725 よりはややく葉片のさける歩合は直立性のため幾分高し。

ハワイでは乾燥地帯或はやせ地では他の品種に比べて蔗茎収量が多いといわれている。

## 二、試験成績

### A、中央農業研究指導所における試験成績

- N.Co.310は分けて本数の多い品種でP.O.J.2725が一株あて三十五本分けするのに対してN.Co.310は八一〇本まで分けする。又、分けの期間も長く、普通夏植でP.O.J.2725は月頭迄、分けするのに対してN.Co.310は五月頃までは盛んに分けし七月頃になってようやく衰える様である(八)生育初期の出葉期はP.O.J.2725に比べて生育がおそいが生育旺盛期の七月から九月までの間はN.Co.310がはるかに早い。
- (一) 蔗茎生産量が多い。
- 分けつ旺盛、枯死茎が少いため茎の生産量が甚だ多い(試験成績参照)
- (二) 糖分含有量が多い。(試験成績参照)
- (三) 病害虫について
- 鼠害、メンガガ虫に対してはP.O.J.2725に比べて抵抗力が弱いように思われるので絶えず枯葉をとり通風をよくすること(七)が肝要である。
- (四) 暴風雨に対する抵抗力。
- 九月二六日のフエイ台風下における調査により、春植、夏植株出ともP.O.J.2725に比べて強いことがわかった(試験成績参照)
- (五) 株出に適している。

B、宮古農業研究指導所における試験成績				1 夏植 (3ヶ年平均)				2、春植 (3ヶ年平均)				3、株出 (2ヶ年平均)			
P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名	P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名	P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名	P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名
2725	-3098	310	ブリックス	2725	-3098	310	ブリックス	2725	-3098	301	ブリックス	2725	-3098	310	ブリックス
			蔗茎取量				蔗茎取量				可製糖率				可製糖率
			指数				指数				可製糖量				可製糖量
											可製糖量				可製糖量
											指数				指数



**写真説明**  
(草丈の順から)  
中心より右後半は H.44-3098  
中心より左半分は N:Co.310  
中心より右前半は P.O.J.2725  
中城村久場区  
新城栄亀氏の農場にて

1957年5月植付

1957年11月20日撮影

C、八重山農業研究指導所における試験成績				D、耐風試験 (中央農指所)				E、夏植 (自一九五四年七月 至一九五六年一月)			
P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名	P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名	P.O.J.	H.44	N:Co.	品種名
2725	-3098	310	春植	2725	-3098	310	春植	2725	-3098	310	春植
			夏植				夏植				株出

以上の試験成績から見ると夏植で従来のP.O.J.2725よりN:Co.310が三割八分、H.44-3098が一割四分の増収率を示しており春植でもN:Co.310が一割九分、H.44-3098が

一割二分の増収率を示している。株出ではN:Co:310は、五倍の収量を示し株出に適する品種であることが分る。又、宮古、八重山の試験成績でも一割五分から三割四分の増収をするP.O.J.2725に比べては畦間を狭くして株間を広くするP.O.J.44-3098は畦間を広くして株間を狭くする方がよい。

### 三、栽培法

#### A、整地

甘蔗の根は深く伸びる性質をもっているのでも一尺五寸は深耕すべきであり又、土を細く砕くことを忘れてはならない。

#### B、植付準備

1、横溝は地形と土質によつて水はけと作業に便利なように上巾一尺、底巾一尺五寸、深き地面より一尺二寸内外に四間一五間の間隔に設ける。

2、畦の方向は地形のゆるす限り南北にして甘蔗の生育によい条件を与え、又畑が傾斜地の場合は傾斜の方向に直角に畦を作り表土の流出を防止することが大切である。

3、畦巾は普通春植では二尺五寸から四尺、夏植では四尺から四尺五寸に作る。

横溝は一尺一寸から一尺五寸深きは地表から一尺一寸内外に掘り下げ、底巾は八寸から一尺程度にする。この作業はなるべく植付予定日が二週間前には完了するようにする。

#### C、栽植密度

N:Co:310は他の品種に比べて特に細根が深く伸びるのでP.O.J.2725に比べては畦間を狭くして株間を広くするP.O.J.44-3098は畦間を広くして株間を狭くする方がよい。

#### D、蔗苗

- 1、大きくしまった苗
- 2、硬くない苗
- 3、病害虫のうけていない苗

4、側芽の伸びていない苗  
以上のことについてよく調査し一段から四段目迄の大きい苗で節間の長さはN:Co:310が三寸五分から四寸程度の二節苗を標準とする。

#### E、植付の時期

沖縄における植付の最適期は春植で七月中旬、春植で三月中旬である。

#### F、植付の方法

1、植床をホー又はワレンホーで苗が埋まる程度の横溝を作り蔗苗は南向に芽は左右に向けて横溝と平行して一寸程度に土をかぶせて軽くおさえ土を密着せしめる。

2、補植用として各横溝の両端に二〇本に対して一本の割合で予備苗を植えておく。

3、降雨のために芽が埋まつた時は土をかき分けて芽の出や分けつを容易にする。

4、発芽しない株が生じた時は予備苗で補植する。補植のときは葉の先端を切りすて、根際も踏み固めシヨベルでいねいに掘り取り予め準備した補植穴へ移して水をかけ充分土を密着せしめる。

#### G、施肥法

1、反当りに施す肥料の量  
夏補用

種目	反当施肥量	基肥	追肥
堆肥又は緑肥	七、五〇〇斤	五〇〇斤	一回 一回
甘蔗調合肥料	四 袋	一 袋	一 袋
春補用	(一〇貫俵)		
種目	反当施肥量	基肥	追肥
堆肥又は緑肥	五〇〇〇斤	五〇〇〇斤	一回 一回
甘蔗調合肥料	三 袋	一、五俵	一、五袋
	(一〇貫俵)		

2、追肥の時期は植付後一ヶ月までに第一回の追肥を施し二ヶ月下旬までに第二回の追肥を終る。

3、施し方は第一回の追肥は株の東側三寸内外離れた所に第二回の追肥は反対側の四寸内外離れた所に溝を作つて施し必ず土をかぶせる。

#### H、中耕除草

初めの除草はへらで芽掘りをおこなつて行い、中耕は第二回目の追肥までに鋤を除草をかねて行う。

#### I、倍土

1、平均培土は夏植は十月までに春植は六月までに中耕をかねて行う。

2、高培土は生育の状況に応じて夏植は年内に春植は七月中旬までに行つ。

#### J、枯葉取り

高培土の前には必ず枯葉を除きその後日湿地及蔗茎の倒れたところ、又は野鼠の害や病害虫のおそれがあるものだけ行つ。

#### K、病害虫の駆除

1、メイ虫に対しては植付後にたえず小枯茎を刈取つて捕殺し被害茎は焼くか堆肥につみ込む。

2、メンガ虫に対しては発生の初めに石油乳剤に浸した布切でよくふきとる。BHC水和剤五%を水一斗に二〇勿程度とかして散布する。テツブ剤一、〇〇〇倍液を散布する。

3、コバナメムシに対しては初期に被害茎を刈取つて焼きすてる。

#### L、暴風後の手入

暴風雨の後は折れた根離れした蔗茎は掘り出して苗その他に利用し、倒れたのは早目に結束して立て土を根本によせて踏み固め排水溝をさらえる。

#### M、収穫調整

収穫は成熟した蔗園の順に鋸で根本から掘りとり枯葉、鞘頭部及不良茎を除き、ひげ根をけつて一束二〇斤程に二ヶ所を纏めて二重に結ぶ。

## N、株 出

収穫後株をろえをなし、根際の上をかき分け、春植と同量の基肥及第一回の追肥を同時に株の両側に中耕をかねて施し、その後は春植と同じような管理をする。

### むすび

戦後琉球砂糖の日本市場における需要は実に大きい。然しながらそれに順応するような生産は未だあがつていない。特に琉

# アメリカに於ける農民の服装

私共はよく道を歩きながら、乗物の中で、或は映画館とか食堂など人の集る所で自分の周囲に居る人達の職業とか環境を想像することをします。

普通、人間の顔付、言葉遣い、動作、服装などは、そうした「身分とか素性」を他人に知らしめるのに影響がありますが、殊に身につけている衣服を通して、全然見えず知らずの人の職業の種類とか、又は住む場所（都会人であるか、地方人であるか）を大体知り得る場合がよくあります。

アメリカで生活して、最も強く感じたことの一つは、一般に農手と都市の相違が人々の服装の上に判つきりと表はれていないといふことでした。

つまり特別な大都会とか、特に汚鄙な田舎は別にして、都市に住む人も農村の人も大体同じ様な衣服生活をしているといふことです。之は婦人の服装、特に主婦の服装に多く見られました。

こうした現象は、主に既製服の普及によるものと思はれます。アメリカでは余程の金持でない限り、服を仕立てさせるといふことはありません。その代り、既製品が、下着からオーバーコートに至るまで、いろいろな種類のスタイルや色合のものが

球は甘蔗作面積に制約をうけるのでいきおい反収の増加をはからねばならない。ところが未だ大方の農家はたゞ甘蔗を植えて置きさえすれば良いという考えで栽培管理の面には殆んど関心がないのではなからうか、その証拠には戦前の反収取量に比較して戦後は相当おちているといわれている。

我々はぜひ反収をあげて生産費を少くし、安くて立派な砂糖を日本の同胞に送らねばならない。（比 嘉 信 吉）

各サイズ毎に大量に売りに出されて居りますので、此の既製品に類つた生活が服装の上での都市と農村の区別を少なくする地ならし作用をして居ります。

又交通機関の発達、それから現在日本で盛んに云われているマス、文化交流の発達で、流行の動きとか、服装の傾向などが各地にすぐ通じますので、都市に住む人も農村に住む人も大体同じ様な波に乗つた服装生活することが出来ると云えます。

そういう風に、一般人の服装は、都市にしろ農村にしろ、冬物でも夏物でも、著しい相違は余りないのですが、その代り日常生活の中で種々な活動に応じた服装の区分が細くなつていきます。例えば、働く時には働き着、くつろぎ用にはくつろぎ着、簡単なよそゆき着とか正式なよそゆき着、スポーツ服、ダンス服といった具合に、活動に応じて、服装そのものも変ります。

そして職業とか住む土地の氣候等に依つて重点の置き方が變つて来ます。つまり事務所に勤める人は労働者よりもワイシャツとか、スワツの数が多しとか、或は寒い土地に住む人は冬のコートを夏のスワツよりも多く持つて居るといつた具合です。農村では、何と云つても農業や牧畜が生活の主体となつて居

りますので、そうした作業にふさわしい働き着或は作業衣といったものの重要性が大きくなります。

特に男性の衣服は婦人のそれよりも働き着に重点が置かれて私共の多くがやるように、古くなつた服を作業衣に廻すのではなくて、トラクターの運転や、その他の農業機械の操作とか、又は農業作業に耐え得る丈夫な、しかも着心地のよいものを買い求めて居ります。

一日の仕事が終りますと、入浴したりシャワーをとつたりして普断着に着替へてさつぱりすることは勿論です。

農村に限つたことではありませんが、寝巻に着替へるのは大抵夕食がすみ、一家だんらんも終つてから夫々の部屋にひきとるときです。

朝でも時間の都合のつく限り、寝巻のまゝで朝食を執るといふことはありませんし、又そういう場合には何か上から羽織つています。

農村の男性は一般に簡単な、スポーティな服装を好みます。仕事の性質がそうさせるのでせう。ちやんとした集会とか、教会へは勿論ネクタイをしめ、背広を着て出掛けますが、休日などに家族を連れて映画に行くとか、遊びに行く時には気軽なシャツにスボンだけの格好とか、或はシャツにネクタイをしめて上着なしといった格好がよく見られます。寒い時には、自然その上にコートとかジャケット等がつく訳です。

婦人の場合には、どちらかといふと、農業そのものよりも家庭内における活動が彼女等の生活の主体になつて居りますので従つて衣服も家庭着が中心となつて居る様です。

彼女等は都市に住む婦人達よりも、一般に家庭着を多く持つて居ります。と云いますのは農村婦人は都市婦人に比べて、家事にのみ従事している時間が多からずです。

洗濯のよく効く材料で作られたブラウスとスカートの組合せ又はワンピースが彼女等の家庭着の多くを占めて居り、冬の寒い時でも屋内の暖房が充分ですので、余り厚着をして居りません。そういった服装で食事を作り、家の中を掃除し、洗濯をするという訳です。